

# しんじゅくニュース

だい 第 17 号

2009年6月25日発行  
発行 新宿区地域文化部文化観光国際課  
電話：03-5273-3504

## 新宿ニュース

FAX：03-3209-1500  
〒160-8484 東京都新宿区歌舞伎町 1-4-1



外国語版ホームページ <http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/foreign/japanese/>  
各担当部署に問い合わせる場合は、日本語でお問い合わせください

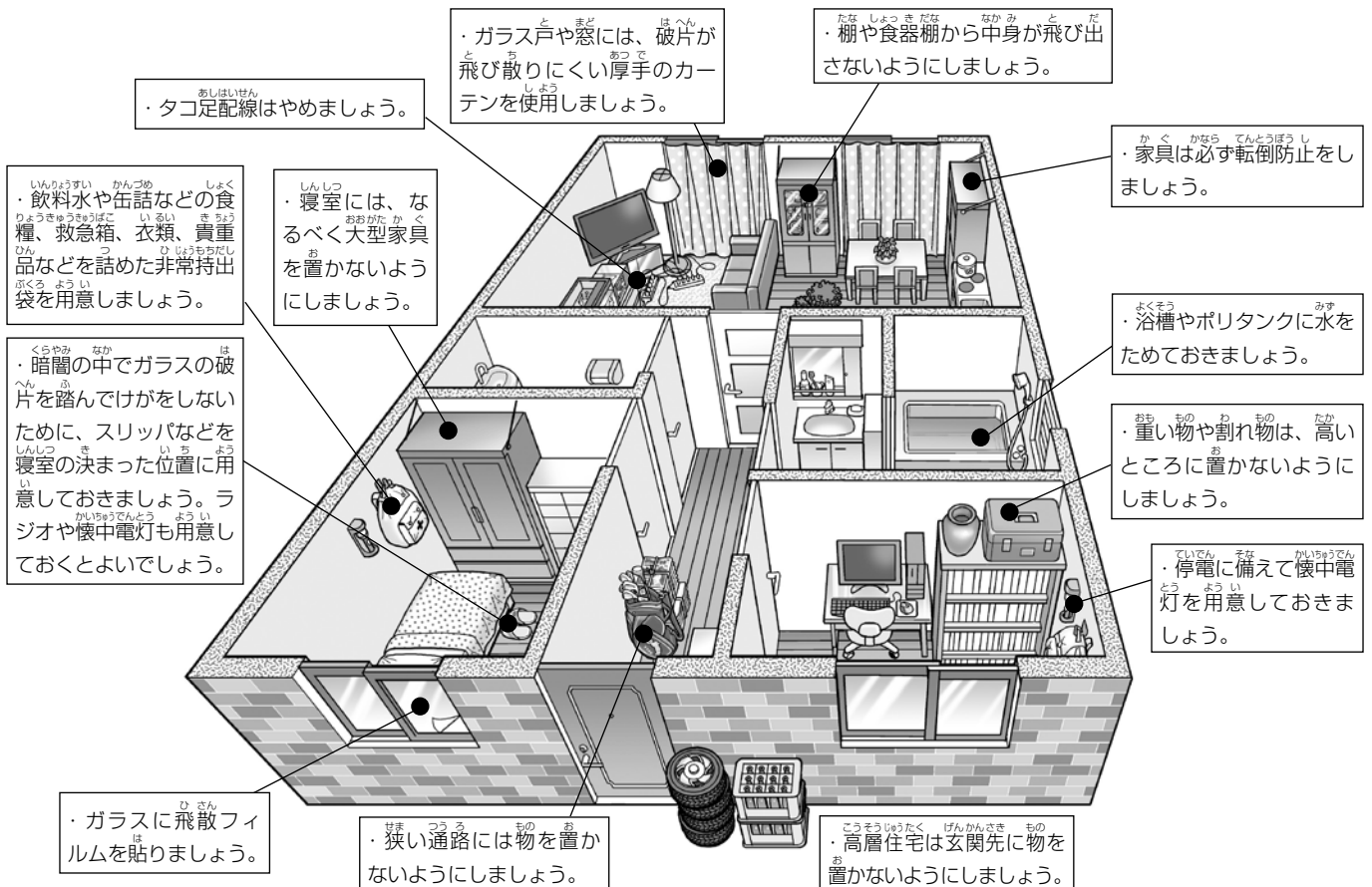
# 地震に備えましょう

日本は地震が多い国です。そして、地震はいつ起きるかわかりません。いざという時、慌てず的確な行動がとれるように、日頃から備えておきましょう。



## あなたの家は安全！？

1995年に起きた阪神・淡路大震災では、震度7の揺れが起き、約6500名が犠牲になりました。犠牲になった方の約80%が建物の倒壊や家具の転倒が原因でした。安全に迅速に避難できるように、まずは自分の家をチェックしてみましょう。



## どこに避難するの？

地震発生後、大火災や家屋の倒壊などの危険がなければ避難する必要はありません。ただし大規模火災が発生する危険性が高いときは避難場所（大きな公園や広場）へ避難します。また、自宅が倒壊するなど生活の場所を失った場合は避難所（区立小中学校など）へ避難します。事前に場所を確認しておきましょう。各避難所では毎年9月～10月頃に防災訓練が実施されます。地域の防災体制を把握して災害時に協力し合えるよう参加するようにしましょう。

さらに詳しく知りたい方は、生活情報紙「災害に備えて」をご覧ください。また、災害時に最低限必要な言葉を記載したセーフティカードも発行しています。あなたの名前や連絡先、血液型、服用中の薬などをあらかじめ記載することもできるので携帯するようにしましょう。  
【配布場所】区役所本庁舎1階、しんじゅく多文化共生プラザ（生活情報紙は特別出張所でも配布しています）  
※新宿区外国語版ホームページで見ることができます。

<http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/foreign/japanese/>

次号の発行予定は2009年9月です。区役所、しんじゅく多文化共生プラザ、出張所、図書館など各公共施設で配布しています。



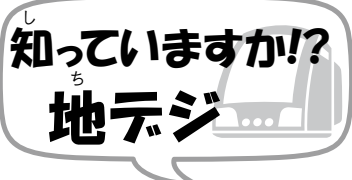
## 定額給付金の申請はお早めに！

●定額給付金の申請期間は10月6日(火)までです。

申請書がお手元に届いている方でまだ申請をしていない方は、お早めに申請をしてください。申請書が届いている方であっても、区が給付決定をする時点で在留期間が満了している方は給付対象にならないので、ご注意ください。

○基準日(2009年2月1日)以前に新宿区から他の自治体に引っ越し、基準日より後に住居変更の手続きをした方は新宿区が定額給付金を給付します。該当する方は下記へお問い合わせください。

**問合せ** 新宿区定額給付金等専用コールセンター  
03-5949-1020 (平日の午前9時～午後5時まで：  
英語・中国語・韓国語対応)  
定額給付金等対策室(第1分庁舎8階)  
03-5273-4503



現在のアナログテレビ放送は、2011年7月24日までに終了し、地上デジタル放送(地デジ)に移行します。地上デジタル放送に移行すると、アナログテレビでは、テレビ放送を見ることができなくなります。

現在市販されているテレビや録画機器などで、アナログテレビ放送にしか対応していない機種には、下のシールが貼られています。その場合、地上デジタル放送移行後は、次のいずれかの対応が必要になります。



- テレビを買い換える
- デジタルチューナーを買い足す
- (ケーブルテレビの利用者は)ケーブル会社に問い合わせる

詳しくは、告知チラシをご覧ください。告知チラシはホームページでもご覧になれます。

[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/dtv/pamphlet/pdf/kokuchi.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/pamphlet/pdf/kokuchi.pdf)

**問合せ** 総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター  
0570-07-0101  
(平日：午前9時～午後9時、土・日・祝日：午前9時～午後6時)

# 2010年4月に区立小・中学校に

## 入学を希望する人へ

日本では小学校6年間、中学校3年間の計9年間、年齢では満6歳から15歳が義務教育とされています。外国人は日本の小・中学校への就学義務はありませんが、希望する場合は申請により入学が認められており、現在約420人の方が勉強しています。

なお、日本の小学校を卒業していないと、日本の中学校に入学ができないのでご注意ください。区立小・中学校に入学を希望する場合は、入学の申請をしてください。

また、小・中学校へ入学する新1年生を対象に学校選択制度があり、通学区域外の選択可能校を希望することができます。希望される方は、学校選択票を申請時にお渡します。

9月に小学校、10月に中学校が学校公開日を設定します。実際の教育の現場を見ることができます。日程など詳しくはお問い合わせください。

**小学校入学対象者**  
2003年4月2日～2004年4月1日に生まれた方

**中学校入学対象者**  
1997年4月2日～1998年4月1日に生まれた方

**申請期間(学校選択票提出期間)**  
小学校への入学は9月1日(火)～30日(水)  
中学校への入学は10月1日(木)～30日(金)

**申請方法**  
あらかじめ学校運営課から送付する「お知らせ」と入学を希望する本人の外国人登録証明書を持って教育委員会学校運営課へ。日本語を話せない方は、日本語を話せる方と一緒にお願いします。

**申込み・問合せ** 学校運営課 03-5273-3089

新宿区では、みなさんが日本の文化や生活習慣を知り、地域で充実した生活を送れるよう「新宿生活スタートブック」、

「SHINJUKU CITY GUIDE MAP」、  
外国語版ビデオ・DVD「はじめまして 新宿」を  
作成しました。

詳しくは外国語版ホームページで見ることができます。  
<http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/foreign/japanese/>



# 恒例の夏のおまつりに行こう

## 薬王寺・柳町七夕まつり

7月5日(日) 午後1時~5時

全長430mの通りには、七夕には欠かせない大きな笹に願い事が書かれた短冊が飾られます。そこを恒例のサンパレードが練り歩き、本場さながらの踊りを披露。歩道には金魚すくい、やきそば、ヨーヨーなどたくさんのお店が並びます。



**場所** 外苑東通り(柳町交差点~仲之町交差点)  
**問合せ** 薬王寺・柳町七夕実行委員会 03-3353-1461

## 神楽坂まつり

ほおずき市 7月22日(水)・23日(木) 午後5時~10時

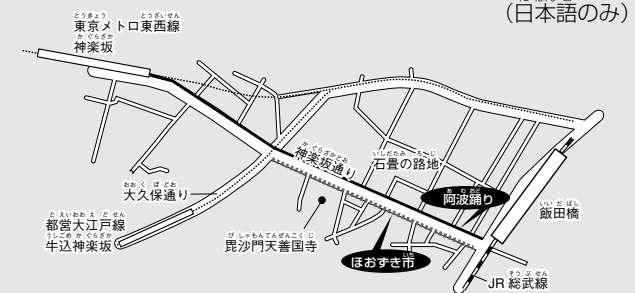
朱色の実も鮮やかなほおずきの鉢の販売や納涼ビアガーデンなどが開かれます。浴衣の着付けサービスや神楽坂まち歩き案内サービスもあります。

阿波踊り 7月24日(金)・25日(土) 午後7時~9時



三味線や笛、太鼓の軽快な演奏に合わせた約15の連(数十人のグループ)が坂を踊り歩きます。

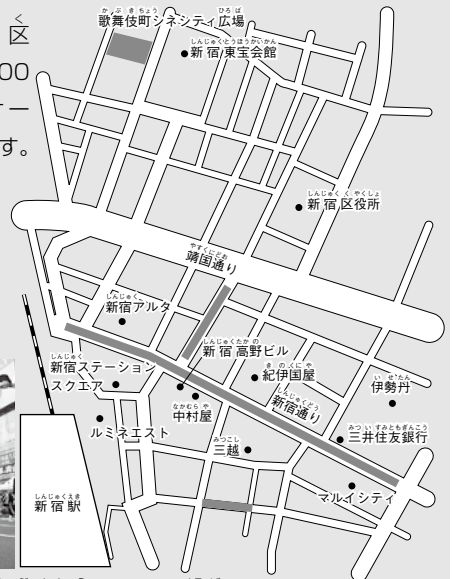
**場所** 神楽坂通り  
**問合せ** 神楽坂通り商店会事務所 03-3268-2802  
<http://www.syoutengai-web.net/kagura/maturi14.htm>



## 新宿エイサーまつり

7月25日(土) 午後1時30分~9時(予定)

本場沖縄を始め、区内や近隣から1,000人を超えるエイサーチームが出演します。カラフルな着物を着た踊り手たちが祭りの太鼓にあわせて踊る姿は大迫力です。



**場所** 新宿通り、歌舞伎町シネシティ広場ほか  
**問合せ** 歌舞伎町商店街振興組合 03-3209-9291  
<http://shinjuku-eisa.jp/> (日本語のみ)

## 新宿区日本語教室2学期

### 学習者募集

日常生活に必要な初級の日本語を身につけましょう。教室に空きがあれば途中からでも参加できます。

**対象** 入門初級レベル。日常生活で日本語を必要としている方。ただし、中学生以下の方は参加できません。

**日時** 9~12月の平日。週1回の教室と週2回の教室があります。曜日は会場によって異なります。学習時間は午前9:30~11:30、午後6:30~8:30(木曜日のみ)。

**会場** しんじゅく多文化共生プラザを含む区内8カ所

**参加費** 週1回クラス/¥2,000-

週2回クラス/¥4,000-

※一度入金された参加費はお返しできません

**申込み** 6月25日~8月7日にはがきFAX、Eメールで下記まで。「①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④国籍⑤勉強したい曜日と時間」を明記してください。結果は全員に8月24日までに郵送します。

**問い合わせ** しんじゅく多文化共生プラザ  
 〒160-0021 新宿区歌舞伎町2-44-1ハイジア11階  
 TEL 03-5291-5171 FAX 03-5291-5172  
 Eメール kokusai@shinjukubunka.or.jp

# とも い 共に生きる

多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解しあい、共に生きていくことです。

ここでは、多文化共生の最前線をレポートします。

寿司、てんぷら、すき焼き、そば・・・みなさんは日本の食文化をどう感じていますか？素材にあまり手を加えず、素材そのものの風味を引き立たせる調理法が尊重される日本食は、健康食・長寿食として知られています。

今回は、アメリカ合衆国アリゾナ州出身で、早稲田大学大学院国際情報通信研究科に在籍中のスティーブン・ナサニエル・パーセルさんに「そば打ち」を体験してもらいました。



## う たいけん にほん しょくぶん か そば打ち体験で日本の食文化にふれる

おそば屋さんへ着くと、調理服に着替え、前掛けをして、早速そば打ち場に入りました。そば打ち場はとてきれいで、おいしいそばを作るためには清潔な環境が大切なのだと感じました。念入りに手を洗ったらそば打ち体験が開始！



まずは、練鉢でそば粉と水を交ぜました。「ここで一番そばの匂いがする。」と店員さんが言うように、いつもよりそばの香りが強く、心地よい香りが漂って来ました。両手の指を立てて、右手は右回りに、左手は左回りに、輪つなぎの砂絵を繰り返すように交ぜました。水を入れ過ぎないことなど、注意点はいくつかありましたが、意

外とすぐ形になりました。

次に麺棒を使って生地を伸ばしました。この段階でのポイントは手をグーのまま麺棒を転がすことだそうです。伸ばし終わると生地を畳みます。おもしろいことに、生地を畳む時、店員さんが「お布団を畳むように」と言いかけましたが、私がアメリカ人なのを思い出して、「あっ、家はベッドですよ？」との質問。「実は布団で寝ています。」と私が言うと、少し驚いた様子でした。やはり、文化や生活習慣が異なる人と接するとお互い勉強になりますね。

最後に、畳んだ生地を切りますが、細く切るのはとても難しく、結局うどんみたいな太さになってしまいました。

完成したそばをお店の釜で茹でてもらい、いよいよ試食。やっぱり自分で作った料理はおいしい！食べ終わるとつゆをそば湯で割って飲みました。そば湯には、そばの葉



養分が出ているので、とても健康によいとのことでした。そば打ち体験は、僕みたいに分厚く切ってしまうと、そば粉の質がよいと初心者でもおいしく作れるので、みなさんも挑戦してみたいでしょうか？

僕の母国アメリカは、様々な人種の人が暮らし、いろいろな

食べ物が食べられます。イタリア系もあればアイルランド系もあるし、インド系もあればメキシコ系もあります。近年は日本料理もだんだん人気になり、お寿司だけではなく、様々な日本料理にふれる機会も増加していると思います。

とは言っても、日本の麺料理はまだ普及しているとは言えず、一般的にはまだカップ麺程度かもしれません。アメリカの日本料理店で働いていた経験がある僕でもまだ知らないことが多く、日本食は奥が深いと最近思うようになりました。せっかく日本で生活しているのだから、これからも日本の食文化にふれ、新しい発見を楽しみたいと思います。



### 「生粉打ち亭」

所在地：納戸町10番地

定休日：月曜日

営業時間：11:30～14:30、

17:30～21:00 (20:30ラ

ストオーダー)

そば打ち教室：お問い合わせは

電話にて(日本語対応のみ)

アクセス：大江戸線 牛込神楽坂駅より徒歩5分 / JR 市ヶ谷駅

より徒歩8分

TEL：03-3235-7177 (日本語対応のみ)

HP：http://www.kikouchitei.jp/index.html

